


地域の活動拠点のあり方を考えています！

- 富木島ふれあいでは、令和4年度（2022年度）に地域の将来像「ふきしま将来ビジョン」を策定し、その実現に向けて様々な活動を展開しています。
- 令和6年度（2024年度）から、地域課題の解決や活力の創出につながる取組を行うための活動拠点のあり方について検討しています。今年度の第3回は、1月24日（土）に富木島公民館で開催し、8名が参加しました。
- 前半は、第2回のあり方検討会で出された意見・確認事項等を踏まえて、地域の活動拠点のあり方に関する市の考え方を説明し、後半は、活動拠点の整備等の方向性及び整理すべき課題について確認しました。

【活動拠点の整備に関する地域からの提案】

- ①案: 公民館を一部改修し、駐車場用地等への指定管理者（コミュニティ）事務室を設置
- ②案: 公民館、児童館及び健康交流の家の施設間連携
- ③案: 公民館は現状維持とし、公民館駐車場用地にコミュニティ事務室（プレハブ）の設置
- ④案: 公民館・公民館駐車場用地以外へのコミュニティセンターの整備
(≒富木島小学校建替等にあわせて検討)

活動拠点の整備等の方向性と今後、整理すべき課題について意見交換

テーマ	参加者の主な意見
コミュニティの事務室確保	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の目的であるコミュニティ事務室の確保は早期に実現すべき（公民館の事務室を夜間利用できるようになり、便利になったが活動には不十分である） ・施設の管理運営を指定管理者として地域が行うことで地域負担増
活動拠点の整備に関する地域からの各提案に対する評価・課題	<ol style="list-style-type: none"> ①案：時間・コストがかかる、施設使用料上昇など地域負担増 ②案：施設は現状維持でハード負担が少ないが、事務室確保は困難 ③案：コミュニティの費用負担が大きく現実的でない ④案：時間がかかるため、当面の事務室確保は困難
利用者視点	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の居場所としての役割も重視したい ・地域の愛着を育む拠点が必要 ・施設使用料は安価な方が利用促進につながる 
小学校または中学校の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の空き教室や中学校の使用していない部室を活用できれば、コミュニティ事務室の確保が早期に低コストで実現できる可能性がある ・小中学校との連携や子どもとの接点ができ、コミュニティ活動の活性化に有効 ・セキュリティや管理・運用ルールなどの課題がある

- 今後、事務局において小中学校の空き教室等の利用について、実現の可能性や課題などを整理、検討したうえで、次回会議を開催することとした。

本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話：052-613-7526、7527／0562-38-6141、6142

Email：chiiki@city.tokai.lg.jp